

## 綾町の照葉樹林保全活動

## 企業社会貢献の場に

## 間伐など体験ツアー好評

綾町は、近年関心が高まっている企業の社会貢献活動の場として、同町が進める照葉樹林保全活動などを活用して、もろもろを模索している。同町には都市部の住民との交流や移住促進のきっかけとなり、企業にとっても全国的に知名度が高い同町での活動に



森の復元へ、スギの間伐作業を体験する参加者

よのイメージアップが図れるなどのメリットが期待でき、同町は関係団体と連携してPRしていく方針だ。

今月十四～十六日は、埼玉県の特定非営利活動法人（NPO法人）「木の家たいすきの会」がモニターツアーを初開催した。綾の森を住民一体

で保護・復元する綾の照葉樹林プロジェクトの「てるはの森の会」と連携し、企業に貢献活動を紹介する業者の県内外から十七人に、研修内容を体験してもらった。

川中キャンプ場そばでは、広葉樹が自然に芽吹くようにするため森の中に日光が入る

ようにスギ間伐を体験。参加者は、高さ約十五メートルのスギにのこぎりで切り込みを入れ、慎重に倒した。このほか、有機農業についての学習会や地元生産者との交流会もあり、

綾について理解を深めた。東京から参加した、環境コンサルティングなどを手掛ける平松宏城さん（仮名）は「都市の企業には環境問題への意識や予算があっても、どう生か

したらいいかわからない会社も多い。照葉樹林をはじめとして綾町は魅力があり、活動の場所として提供すれば多くの企業が来るのではないかと話していた。